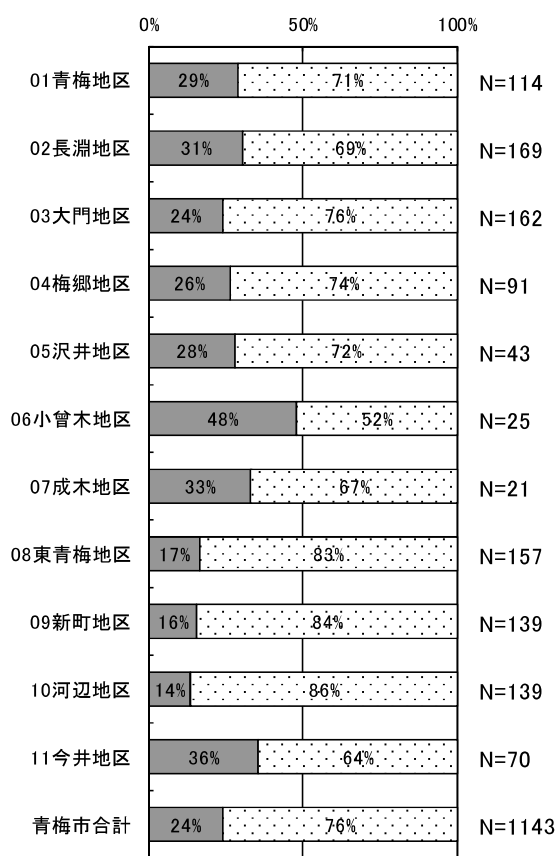


4 市民の移動ニーズと公共交通サービスの不適合(Q3)

(1) 外出時の移動で困っている人はいるのか

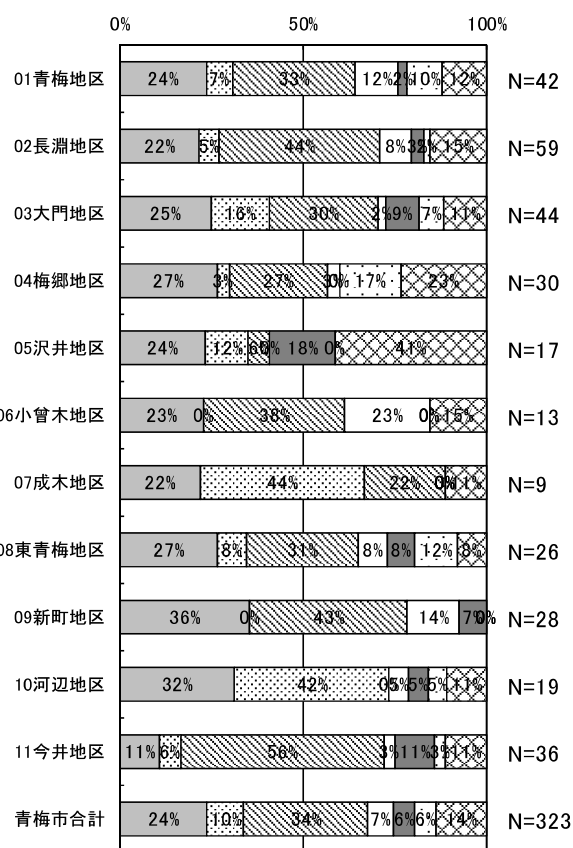
- 外出時の移動で困っている人がいる世帯の割合は、青梅市全体で 24%となっており、長淵地区、小曾木地区、成木地区、今井地区の市街地縁辺部や中山間地域で 30%以上となっている。
- 移動に不便を感じる人のうち、交通手段がない人(1と2)は青梅市全体で 34%見られる。
- 交通手段がない人は、公共交通にカバーされていないエリアで多く分布していると考えられ、公共交通サービスと移動ニーズの不適合が生じている。

図 移動不便者がいる世帯の割合



■ 移動不便者がいる世帯 □ 移動不便者がいない世帯

図 移動に不便を感じる理由



- 1) 交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変だから
- 2) 交通手段がなく、送迎やタクシーが必要だから
- 3) 路線バスはあるが、希望の時間に合わない
- 4) 出発地から、乗車バス停までが遠いから
- 5) 降車バス停から、目的地までが遠いから
- 6) 身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい
- 7) その他



(2) 外出時の移動で困っているのはどのような人か

- 外出時の移動に関して困ったり不便を感じている人は、女性の割合が 65% (青梅市全体)あり、高齢になるほど割合が大きくなる。
- 職業別には無職と専業主婦等の割合が大きく、不便を感じる移動の目的は買物・病院、不便を感じる移動の頻度は週1～2日以下の割合が大きい。

図 移動で不便を感じている人(性別)

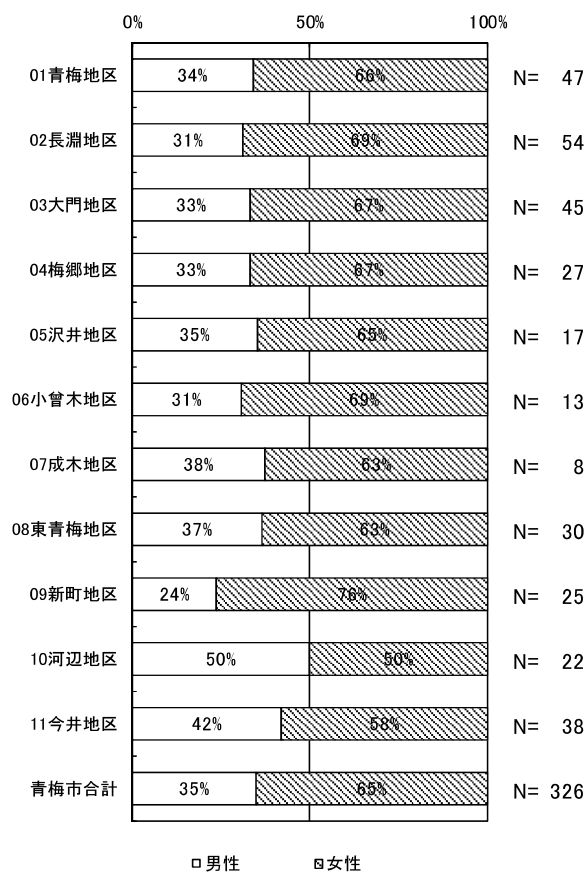
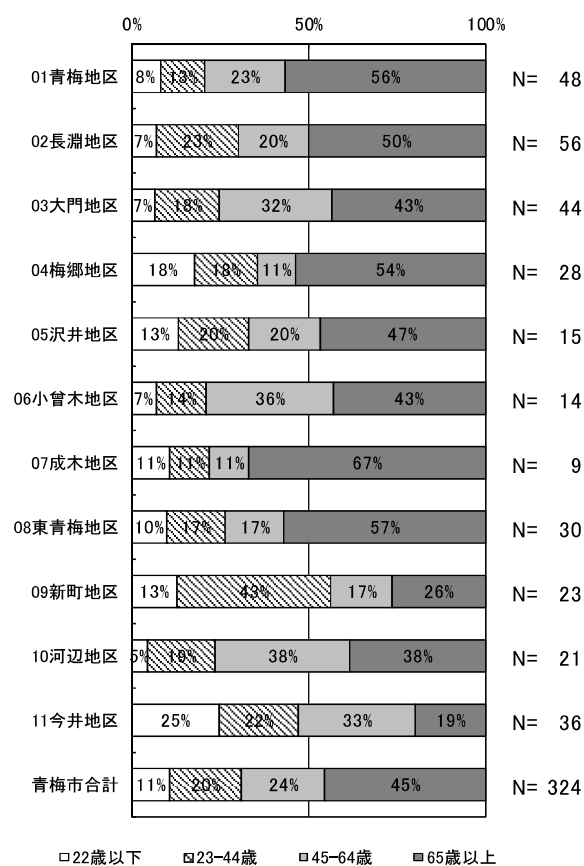


図 移動で不便を感じている人(年齢)



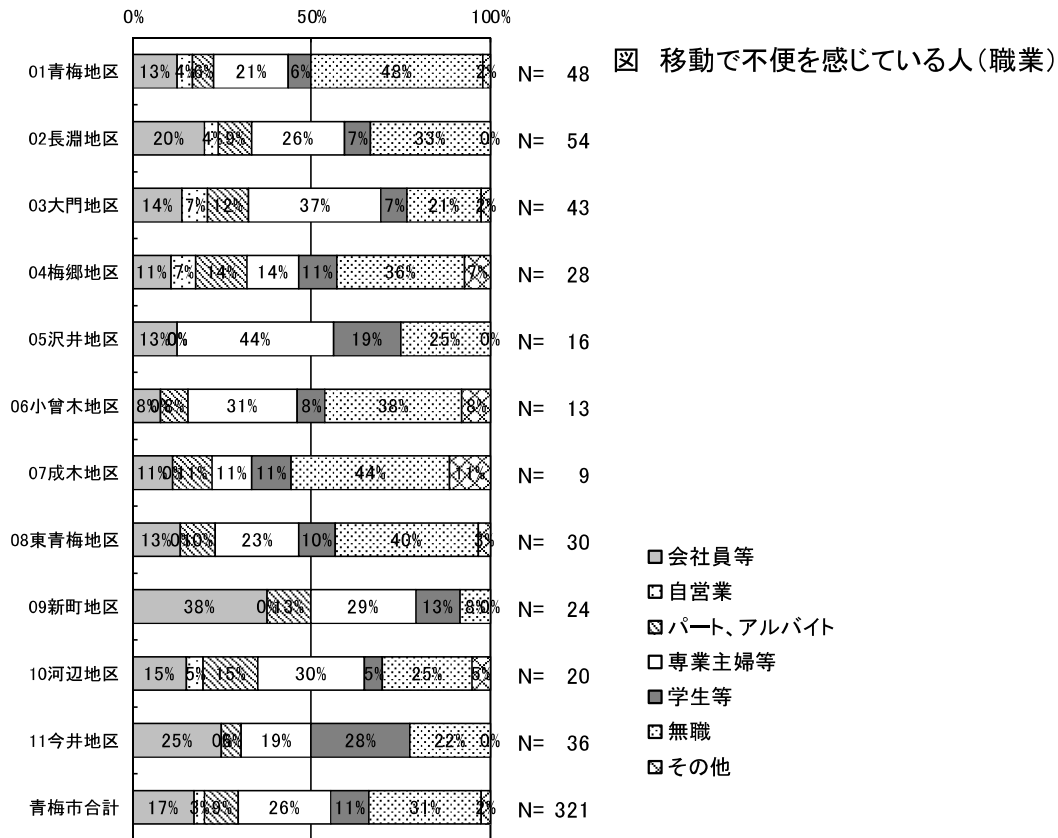


図 不便を感じる移動の目的

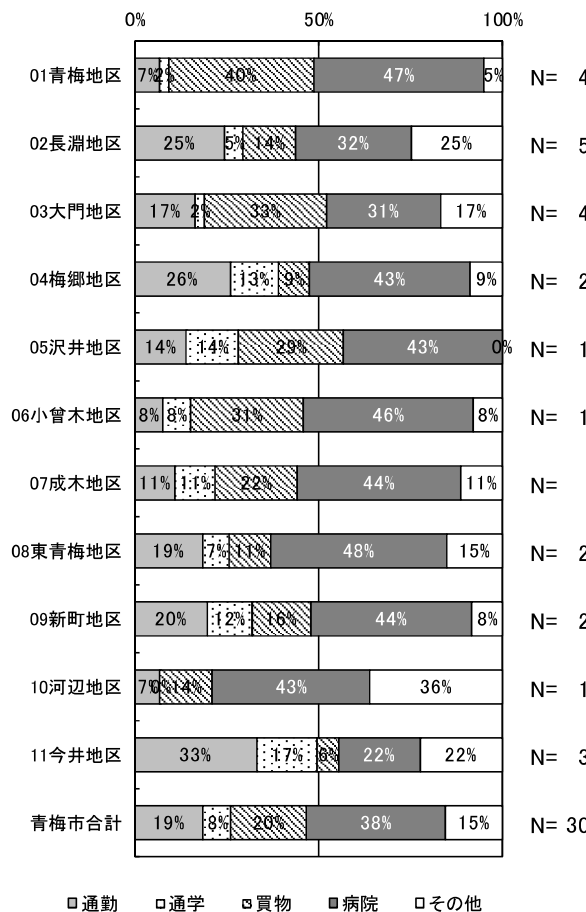


図 不便を感じる移動の頻度

